

紀の川市行財政改革推進委員会概要

開催日時 平成27年8月19日（水） 午後1時30分から午後2時50分

開催場所 紀の川市役所 本庁3階 庁議室

出席者

【行財政改革推進委員】

仁藤会長、箕輪委員、高田委員、佐野委員、野村委員、戸中委員、林委員、仲谷委員、岩橋委員

【事務局】

森本企画部長、神徳企画部次長、東企画調整課主幹、瀧本企画調整課課長補佐、西端企画調整課係長、杉本財政課長、横山財政課主幹、西川財政課係長

欠席者

山田委員

会議の概要

- 1 開会（司会：神徳企画部次長） [13:30]
- 2 森本企画部長より挨拶 [13:31]
- 3 委員及び事務局紹介 [13:33]
- 4 議題
 - (1) 紀の川市行財政改革大綱及び集中改革プランの策定について
 - ・事務局から説明 [13:35～13:50]
 - <意見等>
特になし
 - (2) 紀の川市公共施設マネジメントの進め方について
 - ・事務局から説明 [13:50～14:02]
 - <意見等>
特になし
 - (3) 意見交換（要約は別紙のとおり）。
- 5 閉会

意見交換内容

会長	意見交換にあたり範囲が広いので、例えば資料1の4ページにある「組織としての意識改革」について、優先順位づけをしてどれから取り組むのかという議論をしていただいても結構ですし、私が疑問に思った点では、資料1の3ページ「現状が把握できていない」とあるが、主語がない。また、把握できていないのを市民に堂々とさらけ出してよいのか・・・という風に疑問に思った点を意見していただいても結構です。
委員	資料1にある「課題・問題点の抽出」や「対策として（あるべき姿）」に記載の項目は職員がまとめたのか？作成の手順について説明してください。
事務局	関係課を中心に検討し、最終、庁内組織であります「行財政改革推進本部」において現状分析をした中で取りまとめております。 内部で検討した内容でありますので、行財政改革推進委員の皆様のご意見をいただきたい。
委員	財政計画の推計では、平成30年度には財政調整基金が枯渇し、予算編成が困難な状況となるとの説明であったが、平成30年度まであと少しだが、職員数の削減について平成29年度末で535人以下を目指すとなっているが、前から設定していた目標値だったのか？
事務局	平成26年10月策定の財政計画における目標値です。
委員	人口6万5千人に対して、職員数535人が妥当かという判断が必要だが、適正な職員数の判断は難しい。
委員	現状の職員数は何名？
事務局	平成27年4月1日現在で568人です。
委員	臨時職員数は何名？
事務局	現状押さえている数値では281人です。

委員	財政計画上の数値535人以下を目指すがあるが、現状の職員年齢構成も偏っており（若手が少ない）、10年後20年後を見据えた場合、計画的に新規職員を採用しなければ行政サービスの低下も懸念される。
委員	しかし、10人退職したから10人採用すれば職員削減には繋がらない。職員削減しつつ、試行錯誤して行政サービスを低下させないよう頑張っていたくしかない。内部調整をして努力していただきたい。
委員	合併当初は、同規模の自治体に比べ職員数が過大であったと思うが、職員数の削減は計画どおり進んでいるのか？
事務局	職員適正化計画を定めており、合併当初の職員数が725人であったところ平成27年4月1日時点で568人となっており、適正化計画上は目標値を達成しており、計画的に削減できている状況であります。
委員	<p>1点目の職員の削減について、目標値の達成と合わせて職員構成のバランスを考慮した採用も検討が必要。職員組合代表委員の意見のようにバランスが崩れると不具合が生じる可能性もある。</p> <p>2点目の経常一般財源の削減目標額達成には、選択と集中により優先順位をつけた中で、成果が見込まれる事業の採択が必要。</p>
委員	280名程度の臨時職員の構成は？
事務局	臨時の保育士で100名程度、ゴミの収集業務、学校の介助員でそれぞれ40名程度、残りは主に事務補助等になります。
委員	臨時職員の数は合併当初からどのように推移している？（職員数が減った分臨時職員が増えておればおかしな話）
事務局	臨時職員に関する市の考えとして、ゴミの収集職員については採用を控えていく方針、保育所の臨時職員については、その年の園児の入園状況を考慮したうえで検討している。事務補助の臨時職員については極力採用しない方向です。

委員	職員数削減を目指すうえで、市民サービスの低下を招かないよう留意してください。
委員	人員削減を目指すうえで「民営化」は避けて通れない・・・粉河保育所の民営化が計画より遅れているようだが、その現状は？
事務局	保育所の再編計画にもとづき、所管する保健福祉部で協議を実施しているが、若干計画よりも遅れている状況であります。
委員	粉河管内の保育所民営化（統合）が進めば、ある程度の職員数削減にも繋がるので計画どおり進めていただきたい。
会長	人件費の削減は目に見えて分かるが、役所内の業務改善、効率化による行財政改革の記述がない。市職員が身を削って行財政改革に取り組んでいることを市民に知ってもらうことが必要。また、内部職員による意識改革にも積極的に取り組む必要がある。
委員	民間企業の立場から人材の有効活用、能力開発（企業では多能工化という）が重要。また、合理化を図るうえでは、既にIT化等に取り組んでいると思うが、少人化、機械化が必要。特に能力開発を推進することで、個人のモチベーションアップや生産性向上に繋がるため、是非取り組んでいただきたい。
委員	今後の支所機能の考え方は？
事務局	支所には現状50名程度の職員が配置されており、支所機能の考え方については従来から議論、検討を重ねてきたが、結論は出ていない状況です。今後の住民サービス提供の問題もあるが、引き続き検討したうえで早急に結論を導き出したいと考えています。
委員	支所機能については、人員削減を考慮した中で規模の縮小、機能の縮減も検討していただきたい。

会長	皆様のご意見を参考に、事務局と私とで市長に対する答申を作成し、後日、皆様にはご確認いただくということによろしいでしょうか。作成の過程において意見等の確認をさせていただきたい場合は直接ご連絡させていただきます。
各委員	異議なし